

山梨県若者海外留学体験人材育成事業(大学生等コース) 留学結果報告書

1. 留学目的と活動内容について

私は2017年8月から1年間、大村基金を利用してアメリカ合衆国・アイオワ州へ留学した。現在、山梨県が抱える、人口減少や空き家増加をはじめとする諸問題を解決するための鍵として、観光業が大きく注目されている。そんな中、人口規模や直面している問題が山梨県と類似しているアイオワ州において、地域資源がどのように活用されているのかについて知ることは、将来の山梨県の観光業を支える上で重要なのではないかと考えるようになり、私もその一助となるべくこの留学を決意した。留学中は、地元の大学に通いながら英語力を高めるとともに、地域資源を活用した観光イベントに参加してその特徴を調査することに努めた。

2. アイオワ州における観光資源の活用方法についての研究

— RAGBRAI を例に —

はじめに

アイオワ州が訪問客を惹きつける観光資源には、景観、歴史や文化、スポーツ、食べ物など多くのカテゴリーが挙げられるが、私は特にスポーツの「サイクリング」に注目した。アイオワ州には多くのサイクリングロードが存在し、一年を通して100以上のサイクリングイベントが実施されるほどサイクリングが人気である。留学中の7月には、毎年開催されるサイクリングイベントの「RAGBRAI」に参加した。2日間、約215kmの道のりを実際に走ることで、どのようにアイオワ州がサイクリングを観光資源として取り入れているのか、またその魅力をどのように発信しているのかについて学ぶことができた。

RAGBRAI とは

RAGBRAI とは Register's Annual Great Bicycle Ride Across Iowa の略称で、アイオワ州の西州境にあるミズーリ川から東州境にあるミシシッピ川までをコースとし、アイオワ州内(約753km)を一週間かけて横断する世界最大級のサイクリングイベントである。2018年には1日に約2万人が、アメリカ国内の全ての州と、海外の約20ヶ国から参加した。1973年に始まったこのイベントは、今や世界一の距離、日数、参加者、歴史を併せ持つ有名なイベントとなり、アメリカ国内だけに留まらず、世界各地から参加者が集う大規模なお祭りとして知られている。



RAGBRAI 公式サイトより

山梨県若者海外留学体験人材育成事業(大学生等コース) 留学結果報告書

RAGBRAIの観光としての役割

① 体験型観光の効果

RAGBRAIでは、一日に100km以上の長距離サイクリング、各休憩所での食事やイベントへの参加、夜のテント泊など、様々な体験を通してアイオワ州の魅力を堪能することができる。私はRAGBRAIへ参加し、現在、多くの旅行者を惹きつけている「体験型観光」の魅力を、身をもって理解することができた。私が感じた体験型観光の最大の魅力は、「旅行者が五感を使って体験することで、その地域の本質に触れ、より深く地域を理解することができる」ことである。例えば、建物が一つも見当たらないほど永遠に続くコーン畑の間を走ることで、初めてアイオワ州が「農業国」と呼ばれる意味が理解できたこと、各休憩所で提供されるコーンが疲れを忘れさせてくれるほど甘くておいしいこと、各都市のボランティアの方々と交流する楽しさなど、このイベントに参加する前は想像できなかったアイオワ州の面白さをたくさん知ることができた。そしてこれら一つひとつの思い出は私の宝物となり、再びアイオワ州を訪れたいという思いを強くしている。この経験から、体験型観光は、訪問者が一番早くその土地の魅力を理解できる方法であり、これからの観光政策には必要不可欠なものだと確信することができた。

② タイムレースではないサイクリングイベント

サイクリングイベントと聞くとタイムレースを想像する人も多いと考えられるが、RAGBRAIには時間制限がない。参加者は何日からでも参加でき、コース内であれば好きな場所からスタートし、いつでもやめることができる。そのため、参加者は時間を気にせずイベントを楽しむことができる。ゆっくりと自転車を漕いで景色を楽しむ人、いろいろな人と会話を楽しみながらゴールを目指す人、中にはサイクリングをせずに、各休憩所に先回りをして、各町の食べ物や音楽イベントだけを楽しみにRAGBRAIに参加する人もいるという。このように、時間にとらわれない自由があることで、個人の興味に沿ったやり方で思い出を深めることができ、それがこのイベントを支持するファンを増やすことに繋がっていると感じた。

③ コース変更による効果

アイオワ州の端から端までが舞台となるコースには、参加者が寝泊まりするための都市「Overnight town」(以下宿泊都市)が設けられ、選ばれる都市は毎年異なる。この制度は、参加者と宿泊都市の双方に良い影響を与える。

山梨県若者海外留学体験人材育成事業（大学生等コース）留学結果報告書

まず参加者にとっては、毎年違う RAGBRAI を体験できるという利点がある。参加するごとに異なる町へ訪問し、各地域のユニークな魅力を堪能できることで、飽きることなく何回でもイベントを楽しめる。それゆえにリピーターも多く、彼らの声が広がることで新規参加者の獲得にも繋がる。

次に宿泊都市にとっては、大勢の人に地域の魅力を発信し、地場産業の発展や宣伝に繋がられる利点がある。2018年の宿泊都市であった Onawa は人口約3千人の小さな町であるが、RAGBRAI 開催期間中はその10倍の約3万人がこの町を訪れた。この数字からもわかるように、宿泊都市に選ばれると、普段は観光客から関心が集まらないような町でも一気に注目を集め、多くの参加者にその魅力を知ってもらうことができる。また Ames では、コースの一部に、同市にある Iowa State University（アイオワ州立大学）のアメリカンフットボールスタジアム内の見学を取り入れ、世界中から集まった参加者に、その大学への興味を持ってもらえるような工夫をしていた。他の宿泊都市でも、各都市のオリジナル T シャツや工芸品を販売するなど、様々な工夫が見られた。このように、コース変更制度は、サイクリングと地域ならではの魅力を組み合わせることで相乗効果を生み出し、地域活性化に繋がるチャンスをもどる都市にも与えることができる。また、参加者の受け入れに向けて、公共施設・道路の設備や交通安全、ホスピタリティの充実という様々な側面からの整備が必要となるため、観光客の受入環境が整うという利点もある。さらに何カ月間もの準備期間を通して、住民やボランティアの方々との絆を深め、地域内の関係性を強化できる効果もあると考えられる。これは開催規模が大きい事例ではあるが、現在富士山方面へ観光客が集中してしまうという問題を抱えている山梨県にとって、参考にできる点があると感じた。



アイオワ州立大学のフットボールスタジアム見学を盛り込んだコース（Ames）



参加者に声援を送る地域住民

山梨県若者海外留学体験人材育成事業（大学生等コース）留学結果報告書

RAGBRAI の写真



休憩所で、無料で提供された地元のスイートコーンを食べている一枚



コーン畑を背景とした一枚



コースとなる広大なコーン畑



休憩所の様子



休憩所で楽しむ参加者

山梨県若者海外留学体験人材育成事業(大学生等コース) 留学結果報告書

3. アイオワ州における観光都市の調査

各イベントに参加する以外にも、アイオワ州における観光都市に実際に赴き、各都市で行われている観光政策の調査を行った。以下には「Amana Colony」と「Winterset」という2都市の詳細をまとめていきたい。

① Amana Colony

Amana Colonyは宗教上の自由を求めてアメリカに渡ったドイツ人によって、1855年にアイオワ州に作られた地域の総称である。全部で7つの村から構成されており、1965年には地域全体が国家歴史的建造物として指定された。人々は1930年代までの約80年間、他国からの貿易に頼ることなく自給自足の共同生活で経済を維持してきた。現在では、そのユニークな歴史的背景や、伝承された質の高い工芸品、ウインナーやビールなどの料理が代表されるドイツ文化が堪能できる街として注目を集めている。

1月にこの地域を訪問して感じたことは、この地域が持つ魅力を紹介する方法が非常に分かりやすいということだ。ここでは訪問者向けに、「Village Voyage History Tour」「Village Voyage Arts and Crafts Tour」「Village Stroll Walking Tour」「Guten Appetit」の全4つのツアーを開催している。それぞれAmana Colony独自の歴史、工芸産業、共同生活の様子、食べ物に焦点を当てており、ツアーガイドと共に、各特徴を深く学ぶことができる内容となっている。私は、この複数のカテゴリーに分けられたツアーの開催は、地域の魅力を発信・紹介していく上で効果的であると感じた。まず、カテゴリー別に分けることで、一つひとつの魅力の詳細をより深く紹介できる。また、訪問者は自分の興味に沿った内容を選択することができるため、訪問者のニーズに直接働きかけながら必要な情報を提供することができる。加えて、私のような、その地域のことをよく知らない初めての訪問者にとっては、主要な情報がわかりやすくまとめられていることで、その特徴を大まかに捉えることができ、地域の魅力をより理解しやすくなる。

Amana Colonyへの訪問は、多くの魅力を併せ持つ山梨県において、訪問者にわかりやすくその良さを紹介するための方法を考える上で、良い参考事例となると感じた。



高品質な工芸品製造工場の見学の様子



Amana Colonyの特産品であるウインナー

山梨県若者海外留学体験人材育成事業(大学生等コース) 留学結果報告書

② Winterset



Winterset はアイオワ州のマディソン郡に位置し、1992年に発行された小説「マディソン郡の橋」が映画化された際の、撮影場所として注目された都市である。1995年に映画が公開されると、多くの映画ファンや観光客がこの地を訪れた。当時は、ロケ地めぐりをはじめ、映画の撮影秘話を紹介するツアーや、映画に関する記念館の建設など、フィルムツーリズムとしての観光客集客が行われた。

屋根付き橋のローズマン・ブリッジ

この都市の中でも有名なのは、映画の中に登場した「ローズマン・ブリッジ」である。この橋は、この地域に存在する6つの屋根付き橋の一つで、長年住民の交流の場としての役割を果たしてきた。1976年にはアメリカ合衆国国家歴史登録財に登録された。映画公開後は、橋をめぐるツアーが実施されたり、恋人の聖地として注目を集め、映画公開から約20年が経過した現在でも、多くの人を訪れる重要な観光資源となっている。また、映画に登場したカフェには、カウンター席に鞆が置かれ、誰でも映画に出演した気分写真撮影ができる人気スポットとなっていた。

ロケ地として注目を集めた Winterset では、一つひとつの細かい工夫を凝らしていることで、今もなお映画の根強いファンを惹きつけていることが分かった。現在では、さらに、この町の強みである高技術のキルト産業を活かした取り組みも行われている。町の魅力を活かし、訪問者を飽きさせない工夫をしていくことの大切さを、Winterset を訪問して実感できた。



映画の撮影で使用されたカフェ



映画の一部が再現されている席

山梨県若者海外留学体験人材育成事業(大学生等コース) 留学結果報告書

4. 空手を通じた交流、ボランティア

留学中はアイオワ州内にある2つの空手道場に通うことができ、特技とする空手道を通じて多くの方々と絆を深めることができた。一方は日本発祥ではない「拳法空手」、一方は日本の空手流派の一つである「糸東会」という流派である。私にとって馴染みのない拳法空手の道場では、新しい技を学ぶことができ、新鮮であったと同時に、私も日本の技を教える機会を頂いたことで相互に空手の知識を広げることのできた貴重な体験となった。また、糸東会の道場では指導員という立場で先生のお手伝いをさせていただいた。英語で指導することは簡単ではなかったが、事前に単語を調べ、技の注意点を英語で説明する練習を重ねるなど、自分なりに工夫をし、空手の技と共に英語力も磨くことができた。2018年3月には、空手の師範である父の協力を得ながら、双方の道場との合同練習会を企画・実施した。約30人の生徒と共に、基本練習をはじめ、身体の動かし方や細かな技についての指導を行った。生徒からは「たくさん学ぶことができて楽しかった」「もう一度開催してほしい」という声を頂くことができ、この練習会が、参加者にとって新たな学びや異文化理解、絆を深める場となったことに大きな喜びを感じた。空手道が世界的な人気を高めつつある中で、留学先の小さな州で切磋琢磨しあえる仲間に出会えたことを、本当に幸せに思う。将来は彼らを日本、そして山梨県に招き、空手道の練習と山梨県の魅力を堪能してもらおうという、交流体験の実現可能性も十分にあり得ると感じた。これからも、空手道を通してアイオワ州と山梨県の絆を一層強めることのできるよう、このご縁を大切にしていきたい。



拳法空手道場の皆さんと道場での練習の様子



セミナー時の集合写真と指導の様子



山梨県若者海外留学体験人材育成事業(大学生等コース) 留学結果報告書

5. 学校生活とホームステイについて

世界各国から生徒が集まり、多様な文化に触れることができる Des Moines Area Community College では、多くの友達にも恵まれ、一年間非常に楽しく英語を学ぶことができた。日本とは違い、積極的に質問や発言をするクラスの雰囲気はとても刺激的で、新たな学びの連続であった。留学先で仲良くなった友人とは、ホームパーティーを開いてお互いの国の食事を振舞ったり、文化の違いについて話すことで、異文化や自国についての理解を深めることができた。また幸いにも、帰国の約二カ月前からは、お世話になっていた空手の先生の家族の元でホームステイをさせていただくことができた。日々の出来事を家族で話す時間は、私にとって重要な英会話の練習にもなり、同時に、家族みんなと絆を深めることのできた一生忘れられない思い出となった。私は、こうした全ての人々に支えられて無事に留学を終えることができた。これからはこの感謝を忘れることなく、自分の故郷に恩返しができるよう、より一層精進していきたい。



学内のインターナショナルクラブのメンバー



学校で仲良くなった友人



ホストファミリーとのアリゾナ旅行



クラスメイト

山梨県若者海外留学体験人材育成事業 (大学生等コース) 留学結果報告書

参考文献

RAGBRAI、2018年 <<https://ragbrai.com/>> (参照 2018年 8月 31日)